

教育省、2016年米国教育技術計画を発表（12月10日）

教育省（Department of Education）は12月10日、2016年米国教育技術計画（2016 National Education Technology Plan）「将来への準備の整った学習 ～教育における技術の役割再考～（Future Ready Learning : Reimagining the Role of Technology in Education）」を発表し、効果的な技術利用を通じた授業及び生徒の成績向上に取り組む全米の学区リーダーに対し、個々に合わせた専門学習への支援を誓約した。本計画は、5年毎に更新される米国教育技術政策に関する代表的文書で、2016年版の計画は、時や場所を選ばない学習を可能とする、公平性、積極的利用、及び、協力的リーダーシップに関する構想を概説している。同計画における学校及び学区に対する提唱は以下の通り。

- 教員養成機関を通して教育技術を利用するように、教員養成プログラム及び高等教育教員の記述的熟練度の最低基準を再編。
- 生徒のバックグラウンドに関わらず、学校内外での技術・ネットワーク接続性への公平なアクセスを目標として設定。
- 従来の教科書の代わりに、質の高い、自由な利用が許可された教育マテリアルの導入。
- 校長・教員養成プログラムを含め、全教育機関においてアクセス可能な共通計画原則の実行。
- リアルタイムに近いフィードバックを可能とするよう技術ベースでの評価を改善。
- 現在の接続性目標を達成し、将来の需要に応えるための増強が可能な強固な技術インフラの構築。

なお、本計画は、<<http://tech.ed.gov/files/2015/12/NETP16.pdf>>からダウンロード可能。

Department of Education, *U.S. Department of Education Releases 2016 National Education Technology Plan*

<http://www.ed.gov/news/press-releases/us-department-education-releases-2016-national-education-technology-plan>